

全学部・全ワラスに 安保斗争委員会を確立し

6月連続スト→7月ASPAAC粉砕に前進せよ!

斗争の突破口＝山本委員会

全ての学友諸君、今や闘いの機は熟している。我々自身も直接参加し意見を述べ、行動するという、主体的な行動、その組織が必要とされている。それは、全ての党派を越えて真正に闘おうとする者の結集する場である。

この経済学部安保斗争委員会を全学部に発展させ、夏に70年安保斗争の部隊として形成し、革命的な反戦斗争を担う核として具体化しよう。これはありせんや。ハッ、経済学部安保斗争委員会結成宣言(1)

盛り沢山の選挙用政策のフルコースをおくれ、美しい形式で「統一」や「平和」を讀んでいる。だが、一つ、**実践を免除している。**

選挙運動は、十分な政策討議を行わなければならないことば言うまでもない。それは、政策を政策として言うことでは決してなく、我々、どのような課題を、どのような組織とどのような運動によって実現するの及、即ち、我々自身の運動の方針を検討し、全学大の基本的な活動とその指導部を確保すること、これが選挙の任務であるだろう。

我々は、こうした任務の最も重要な、全学民的な、そして、世界的なものの、70年安保粉砕、成田ボーリング阻止、沖縄の東南アジア侵略基地化阻止、ASPAAC粉砕の革命的な反戦斗争であることを考へる。

社共、統一会議両派、民青の位置

これに対し、社共は、6月集会→参院選を提議し、統一会議両派、これに追随している。又、日共は、6月(日)日(日)大阪集会→参院選を提議し、民青は「全学連」統一系とアトを追っている。

この二つの運動に共通しているのは、
1 エイトナム人民の勝利を、戦争と平和との問題に置き、パリ和平条約への圧力運動として闘いを行おうとしていること。

2 アメリカ帝国主義に反対しているが、日本帝国主義の侵略策動を明確に暴露し得ず、日本帝国主義の海外侵略を米帝国主義のせいにして、暴力支配権力の弾圧を全学連に反戦青年委員会の斗争のせいにしていく。

我々は、全ての学友、こうしたガマンにまどわされることなく、経済学部安保斗争委員会の呼びかけに応え、6月ゼネストに向って、斗争委員会を結成し、斗争執行部を確立し、全学連に反戦青年委員会ととも、6月ゼネスト、7月ASPAAC粉砕、8月日共反戦公敵に向って、闘いを押し進める、ことを呼びかける。

70年安保粉砕、成田ボーリング阻止、ASPAAC粉砕、沖縄侵略基地化粉砕